

## クスノキ通信



整備局総務部契約課の藤本  
課長補佐に要請書を手渡す  
小林豊数議長 (4月12日)

度重なる燃料代・資材の高騰の影響により末端で働く建設労働者の多くがしわ寄せを受けています。特にダントン持ち労働者には昨年より燃料代の高騰で大きな影響が出ています。一方で受け取る単価が上がったという情報はほとんどありません。

広島ダントン支部は三月に、中国地方整備局に別項の「緊急要請」を提出し現状を改善するよう要請していました。要請には組合側からダントン支部小林農業議長、武田喜成事務局長、県本部の山田昭夫書記長の三人が参加、整備局側からは、建政部課長補佐の土井学氏

が、依然として非正規雇用で働いている実態が明らかになっています。(厚労省も「就職氷河期年代(二〇〇〇年代)と言われる時期に卒業し求職活動を経験している労働者のかなりの人が、依然として非正規雇用で働いています。)元請企業も廃業している状況があり、「元請け業者に強い指導を徹底してもらいたい」などと緊急に要請した背景についても説明し、要請しました。

「資格がなく転職数も多いため、普通の企業では採用していただけず、人がすぐいなくなるので人材が欲しいといふような企業にしか受からない。そこに入つては辞めるという悪循環に陥っている。そういう人間も安定して働くような職場がほしい」この度のアンケートの自由記述欄に書かれてあった内容の一つです。

以前にも、この実態と同じような求めた結果がまとまり、努力する」と現状が改善されるよう引き続き、話し合いをしてゆくことを確認しました。

三月に実施した「ハローワーク前アンケート」の集約結果がまとまり、コロナ禍のもと依然として厳しい雇用実態が明らかになりました。

## 「やへいこせねー!」ダントン支部が「緊急要請」にむじぎ整備局と話し合ひ 4/12

# クスノキ通信

全日本建設交運一般労働組合広島県本部  
〒730-0853  
広島市中区塙町一丁目一九-三〇三  
TEL (081) 221-3050  
FAX (081) 221-3051  
e-mail  
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

●要請書

●必要経費を含む適正な単価が末端まで支払われぬよう元請け業者に対して指導する」と。

●設計労務単価や経費などの引き上げた部分がきちんと末端までいきわたるよう元請企業に対して指導を徹底する」と。

## 正規雇用は依然として厳しい実態

また「新型コロナ感染が失業離職の原因として影響している」と答えた人は五三人(二〇・五%)で昨年よりは少なくなりいるものの、引き続き大きく影響していることが伺えます。

失業・離職して一年以上を経過する人は一九・四%(昨年は一三・四%)と昨年より増えていましたが、すでに二年以上経過している新型コロナ感染拡大の影響がいまだに大きいことは間違いないと思われます。

## 一年以上失業は約一割

◆「(国連は)すべての加盟国の主権平等の原則に基づきおいている」「すべての加盟国は、武力による威嚇(いかく)とは、正規雇用は依然として厳しい実態だということです。いわゆる「就職氷河期」(九〇年代(二〇〇〇年代)と言われる時期に卒業し求職活動を経験している労働者のかなりの人が、依然として非正規雇用で働いている実態が明らかになっています。(厚労省も「就職氷河期世代の方々の支援について」のホームページを設けています)

職者とアンケート活動の際に対話になった」とがありました

が、この記述からうかがえることは、正規雇用は依然として厳しい実態だということです。

◆「(国連は)すべての加盟国の主権平等の原則に基づきおいている」「すべての加盟国は、武力による威嚇(いかく)または武力による行使を慎まなければなりません」(国連憲章)◆これに照らしてもロシアのプーチン政権の独立国ウクライナへの侵略は、国連憲章に真っ向から反する、いかなる理由をつけても許されない蛮行である。ましてやプーチン本人は「ロシアは核大国である」と核兵器の使用の可能性にも言及するなど、世界を敵に回している◆ヒロシマ市民は許さない。四月一日(土)と四月一〇日(日)に広島市の原爆ドーム前で若者も大勢参加する「戦争反対!」が開催された。このうち一〇日の「和平の祈りを世界へ送ろう」と呼びかける集いは「カクワカ広島」(核政策を知りたい広島若者の会)の呼びかけで約五〇人が参加、「ヒロシマ・ナガサキを繰り返すな」と書かれたプラカードでウクライナの平和を願い、ロシアに抗議◆参加者は「多くの市民や子どもたちの命を奪うロシアの侵略は許せない」、「ロシア軍は今すぐ撤退せよ」

◆「岸田首相はただちに核兵器禁止条約に参加し世界に核兵器廃絶を訴える先頭に立て」などと訴えた◆一〇日の集いは、ドローンでも動画撮影されSNSにアップされ、核保有国はじめ世界の国々に発信された。ロシアのプーチン大統領にも届いているはずだ。(M)



写真上は、4月10日「カクワ  
カ広島」の呼びかけの集会、下は  
「ウクライナに平和を」と呼び  
かけた4月2日の集会で挨拶す  
る田中美穂氏（原爆ドーム前）

# 平和の祈りを世界に送ろう

## 広島の若者が戦争反対！核兵器をなくせ！ を世界の核保有国の指導者らに発信

ロシアによるウクライナ侵略が止まらない中、「戦争反対！」と「核兵器なくせ！」の声を世界に広げようと、四月一〇日（日）、広島市原爆ドーム前で広島の若者らが「平和の祈りを世界に送ろう」と集会が開かれました。

呼びかけたのは「カクワカ広島」（核政策を知りたい広島若者の会）で、緊急の呼びかけにもかかわらず約七五〇人が参加しました。

### SNSで世界に発信

参加者は「NO WAR」と書いた横断幕や「ロシアはウクライナから撤退せよ」「核兵器をなくせ」などのプラスターを掲げてアピールしました。

「カクワカ広島」共同代表の田中美穂さん、広島県被団協の佐久間邦彦さんらが「ロシアの侵略戦争を早くやめさせるため声を上げ続ける」「岸田首相は核兵器禁止条約に参加し、世界に核兵器廃絶を訴える先頭に立て」などと訴えました。四月二日（土）にも広島県原水協、広島県被団協などの呼びかけで集会がありました。

# 電話での問い合わせや「加入を

## 検討します」ねじのメールも 軽貨物ユニットの紹介ハガキに反響

建交労軽貨物ユニオン広島支部では、四月になつて、「軽貨物フリーランスの皆様へ」と書いた「紹介ハガキ」を広島市内中心に、対象者約一五〇〇人に郵送しました。その数日後から、「自動車共済に加入したいが見積してほしい」、家族からも「長時間労働で健康が心配」などの問い合わせと共に、メールでも「はがきをいただきました。加入を検討しますので資料を送付願います」との連絡も来て います。

武田事務局長は「一つ一つ丁寧に対応しながら、要求に応えて組合加入に結びつけたい」と決意しています。

### ウクライナ人道支援

#### 募金を送金しました

建交労広島県本部と三原支部、広島支部は、建交労中央本部や全労連の呼びかけに応えて、「ウクライナ人道支援募金」に取り組み、四月八日、三三三、四〇〇円を全労連に一次分として送金しました。

三原支部では、四月五日の「月例集会」の際に仲間に呼びかけ、一人三〇〇円の募金を集めました。

この募金は、全労連からユニセフ（国連児童基金）と国連難民高等弁務官駐日事務所に按分されて、送られます。引き続き募金にご協力ください。

## 今後の組合日程など

五・一 第93回広島県メーテー  
(平和公園噴水前一〇時スタート)

五・一〇 中国市長会要請（予定）  
年金裁判の判決日

五・一一 憲法講座（日本国憲法）

五・一二 建交労第四回中央執行委員会  
(~三一日)

五・一六 いの健中・四国ブロックセミナー  
(~五日・広島市)

六・一 六 建交労広島県本部執行委員会  
六・一〇 第八回建交労フェスティン京都  
(~一二日京都市にて)

六・二五 広島県労連評議員会



生命力の強いいたんぽぽの花、  
アスファルト道路の端っこに力  
強く根を張って頑張っていました。  
しばらく目を楽しませてく  
れそうです（広島市内西区にて）



\*県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、ファックスや、「メール」でお寄せください。メールとファックスは以下の通りです。

f a x ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp